

株式会社エンプラス

2010年3月期 第2四半期決算説明会

2009年10月28日
取締役兼常務執行役員
経営戦略本部長 酒井 崇

2010年3月期 経営基本方針

- 1 . お客様価値の追求
- 2 . 差別化製品の開発上市
- 3 . 低コスト化技術の開発、推進
- 4 . 標準化、共有化による業務品質の向上

当上半期に実施した主な施策

- 事業部制から機能本部制へ
- 金型製造の多角化
- 法定準備金の取り崩し
配当可能利益の確保
- 自己株式の市場買付（140,000株）
- 全グループ社員へのストック・オプション付与
- エンプラス（韓国）の休眠化

第2四半期決算実績

当第2四半期実績

(単位：億円)

	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第2四半期 累計実績	前第2四半期 累計実績
売上高 (原価率)	35.0 (73.6%)	45.1 (67.1%)	80.2 (70.0%)	126.4 (72.9%)
営業利益	4.3	1.1	3.2	2.9
経常利益	4.2	0.9	3.2	1.0
当期純利益	4.9	0.5	4.4	10.9
1株当たり当期純利益	32.23円	3.75円	28.57円	64.47円
1株当たり配当	-	-	5.00円	5.00円

4

セグメント別売上高実績

(単位：億円)

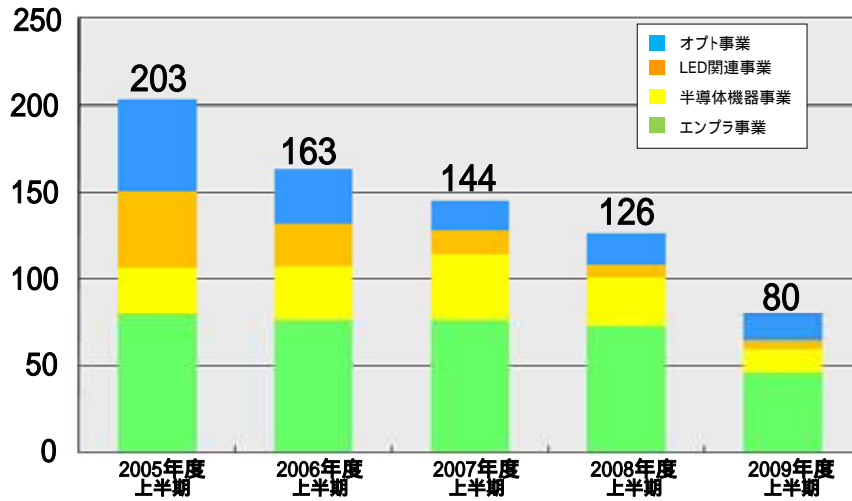
	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第2四半期 累計実績	前第2四半期 累計実績
エンプラ事業	18.9	26.4	45.3	72.7
半導体機器事業	6.8	7.5	14.3	28.4
LED関連事業	1.6	3.4	5.0	6.5
オプト事業	7.6	7.8	15.4	18.7
合計	35.0	45.1	80.2	126.4

5

上半期実績推移

売上高

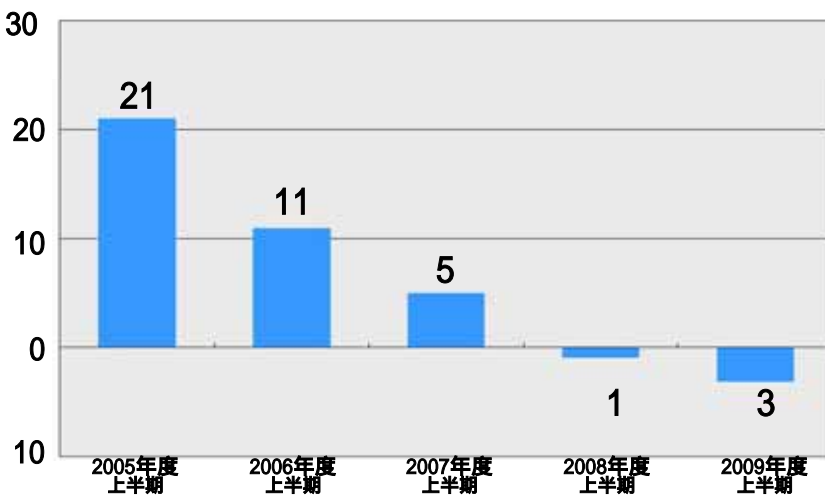
(億円)

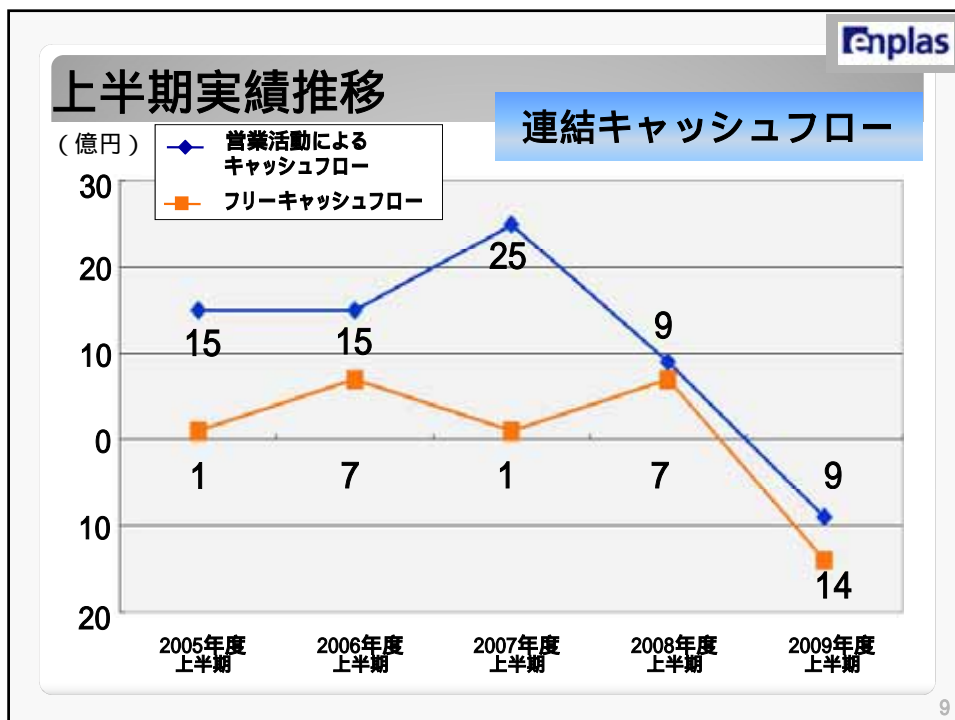
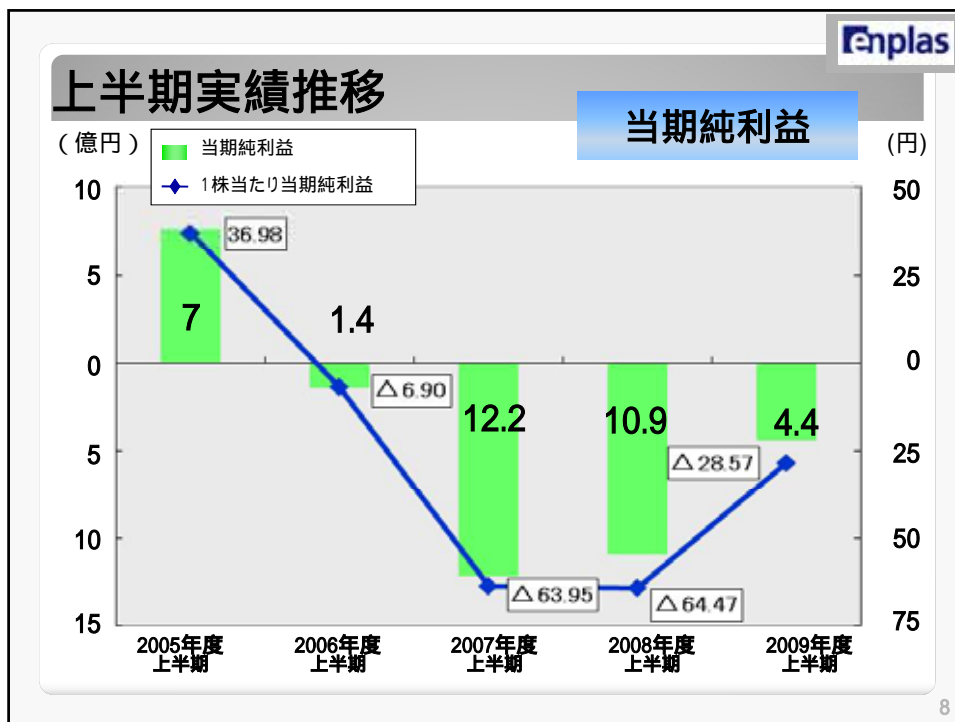


上半期実績推移

経常利益

(億円)

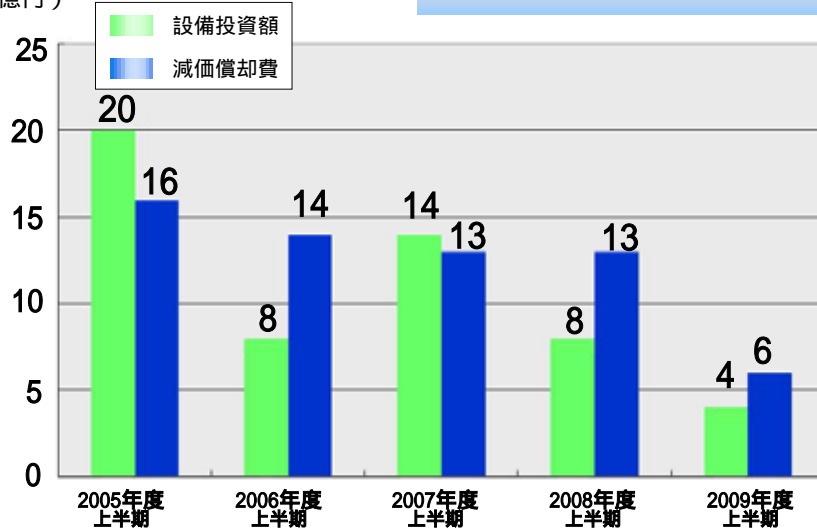




上半期実績推移

設備投資額と減価償却費

(億円)



2010年3月期
通期修正計画(連結)

2010年3月期 通期修正計画

(単位：億円)

	当第2四半期 累計実績	通期 修正計画	通期 期初計画
売上高 (原価率)	80.2 (70.0%)	170.0 (64.7%)	160.0 (62.5%)
営業利益	3.2	2.0	0.0
経常利益	3.2	4.0	4.0
当期純利益	4.4	1.0	1.0
1株当たり当期純利益	28.57円	6.53円	6.47円
1株当たり配当	5.00円	10.00円	10.00円

12

セグメント別 売上高修正計画

(単位：億円)

	当第2四半期 累計実績	通期 修正計画	通期 期初計画
エンブラ事業	45.3	97.0	95.0
半導体機器事業	14.3	30.0	30.0
LED関連事業	5.0	13.0	10.0
オプト事業	15.4	30.0	25.0
合計	80.2	170.0	160.0

13

参考指標

(単位：億円)

	2009年3月期 実績	当期 修正計画	当第2四半期 累計実績
設備投資額	14.4	8.0	4.1
減価償却費	25.7	14.0	6.9
研究開発費	10.0	4.0	2.1
(売上高比)	(4.8%)	(2.4%)	(2.7%)

各セグメントの事業戦略

エンプラ事業

前上半期
実績

前下半期
実績

当上半期
実績

当下半期
計画

72.7

49.7

45.3

51.6

➤ 事業領域の戦略的拡大

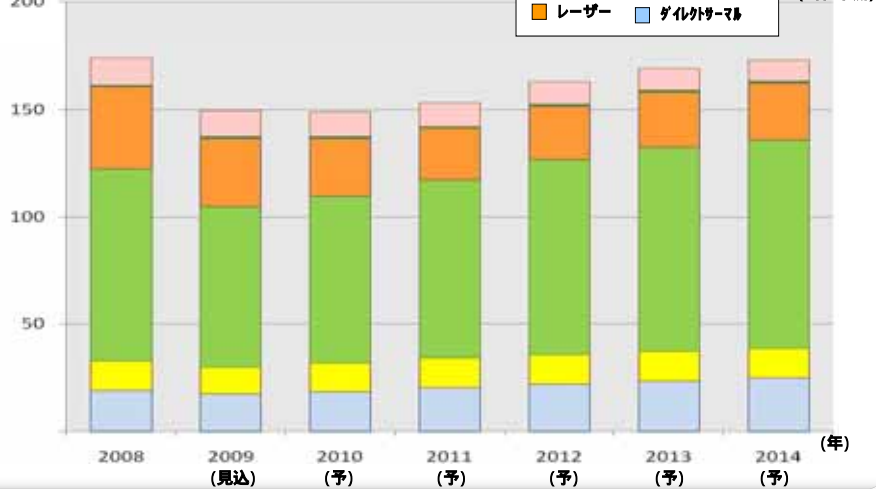
- エンプラス（広州）での金型製造スタート
- 低コスト化量産技術のグローバル展開
- 既存事業・既存顧客への横展開
- 最適地生産の徹底追求



エンプラ事業の動向

プリンターの世界市場予測

(単位:百万台)



半導体機器事業

前上半期
実績

前下半期
実績

当上半期
実績

当下半期
計画

28.4

16.9

14.3

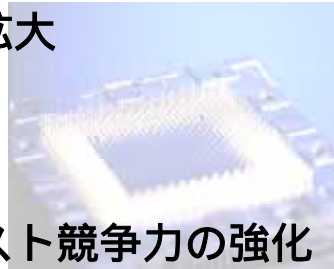
15.6

➤ 技術差別化によるシェア拡大

➤ バーン・イン・テスト市場

➤ テスト・ソケット市場

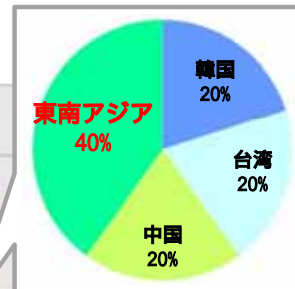
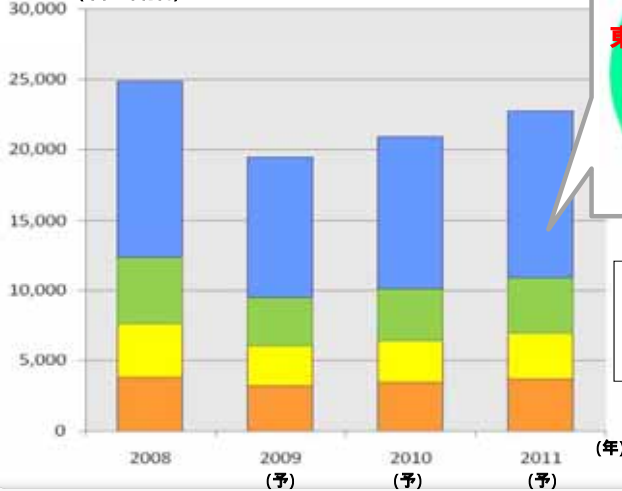
➤ 更なる収益構造改革とコスト競争力の強化



半導体機器事業の動向

地域別半導体出荷額予測

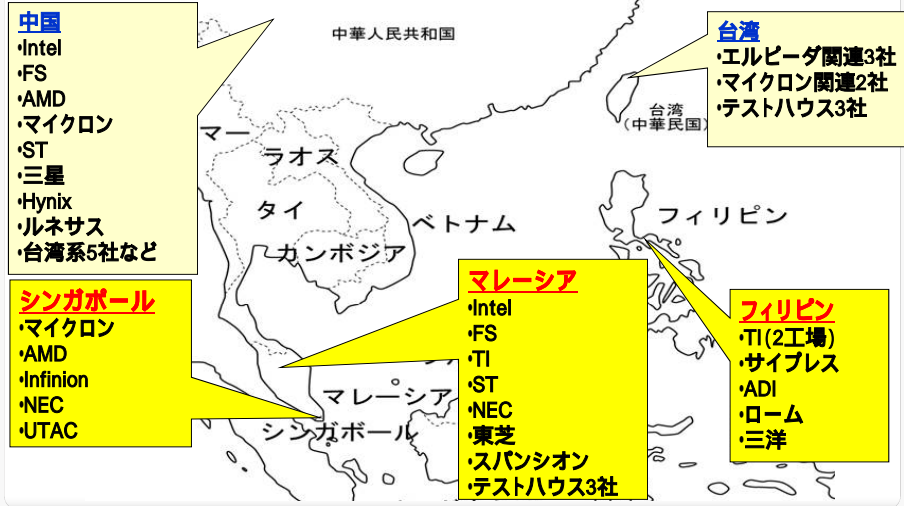
(単位:十億円)



(当社予測)

半導体機器事業の動向

アジア地域における主要メーカーの進出状況



LED関連事業

前上半期
実績

前下半期
実績

当上半期
実績

当下半期
計画

6.5

1.7

5.0

7.9

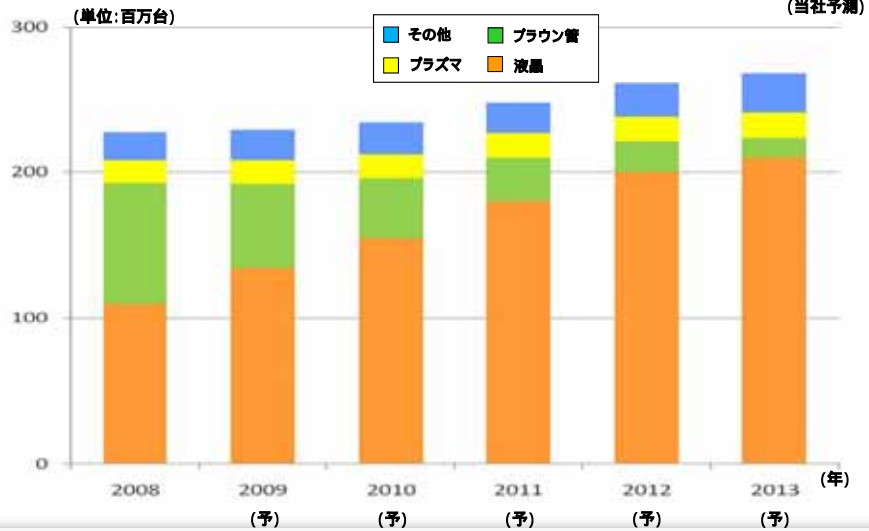
➤ 成長ステップへの事業強化（液晶TV用）

1. ターゲット顧客への着実な拡販
2. 最適生産技術・生産体制の確立
3. LEDの技術進歩に合わせた次世代製品の開発

➤ 営業戦略の多角化（照明用）

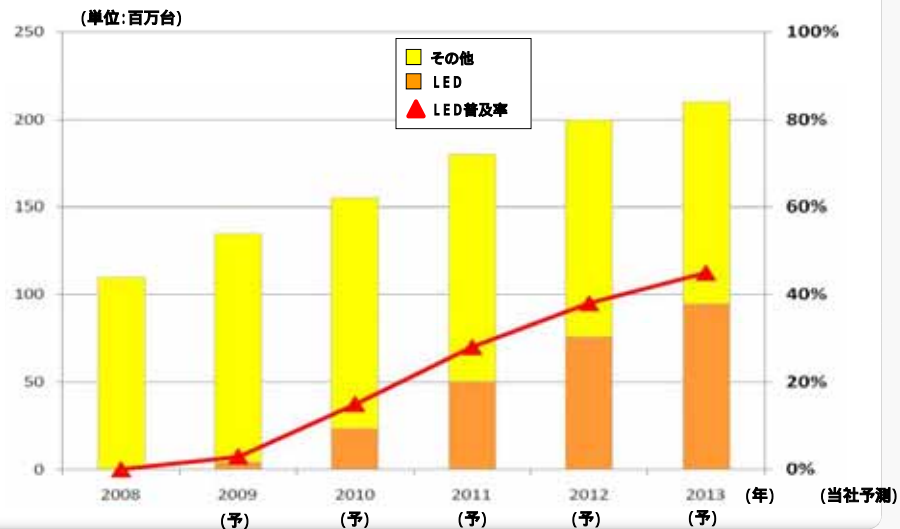
LED関連事業の動向

ディスプレイ別TV出荷台数予測



LED関連事業の動向

LED光源バックライトTV需要予測



オプト事業

前上半期
実績

前下半期
実績

当上半期
実績

当下半期
計画

18.7

13.1

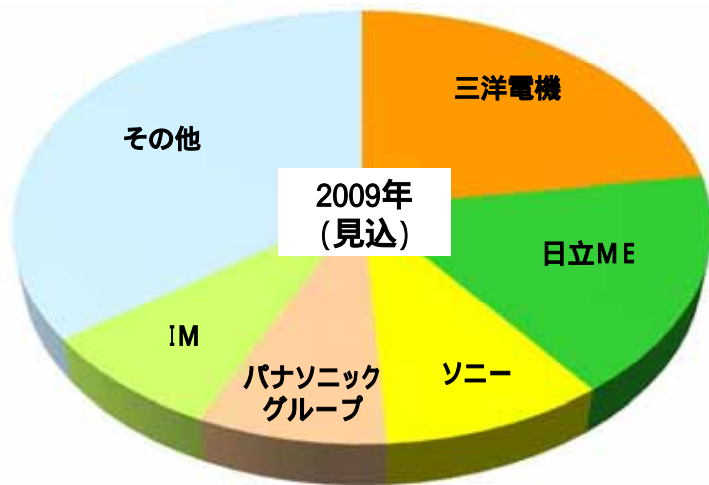
15.4

14.5

- A I S : 事業戦略の再構築
- O P U : 需要拡大に見合う高効率
生産体制の強化・拡充
- O F C : トップ・シェアの維持と
顧客価値の追求

オプト事業の動向

ピックアップのメーカー・シェア予測



(当社予測)

ご清聴有難うございました。

株式会社エンプラス